

# おいしだ

## 大石田町

消防関係表彰・教育訓練……………P2～3  
令和3年度重要事業……………P4～5  
特別定額給付金申請受付開始！……………P10  
虫歯のなかった子……………P13



■表紙写真  
かもしかクラブ開講式  
5月12日に大石田保育園で、かもしかクラブ開講式が行われました。  
今年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着用した状態で園児のみで行われました。園児たちは、かもしかクラブのお友だち「モーくん」の登場に驚きながらも、しっかりと交通安全の勉強をしていました。

### おいしだのどんとむがすの⑥

#### 向川寺の不思議

黒滝、向川寺の開山大徹和尚さんは、徳のある誉れ高い方であった。小僧のころ、本堂で灯明（仏さまに供える灯）の火きりをしていた。昔は、マッチがないので、石と金（金・銀・鉄・銅など）をばげしくぶつけて、火花を出し火をつけていた。

「その火は、石から出るのか、それとも、金から出るのか。」と聞いてきた。火は石から出るのでもないし、金から出るのでもない。両方ぶつかった時に出るのだから、答えようがない。困っていたが、この子は、天狗だと分かって、反対に、「それでは、おれは、母の子か、それとも、父の子か。」と問い返してやったら、子どもは返答に詰まって消えてしまった。この子は、やはり天狗だと言われている。

ある時、寺に神鳴が落ちた。その音と共に落ちてきた神鳴の子を、和尚さんは、これは珍しいと思つて、早速捕まえた。そして、庭の草取りや、薪割り、水汲みなどをさせたりして働かせていた。



しばらくして、神鳴の子は、「和尚さま、何卒暇をください。」と頼んだ。それで、和尚さんは、「それなら、これから先、この寺の庭に草一本生えないようにすること、もう一つは、山根（山の高い所）に清水が湧くようにすること。」という条件を出して、暇をだした。それで、神鳴の子は、天に帰っていったということである。

香雲寺様がこの寺に参詣に訪れたとき、舟から降りると、いきなり空から、大きな石が降ってきた。その一つが、御刀番の土肥源八兵衛にあたった。源八兵衛は事ともせず四方をにらんで、身構えていると、まもなく、不思議なことに石が降ってこなくなり、快く参詣のお供ができた。

この時の石を「天狗の握り石」と言つて、この寺の宝物として伝えられている。ちょうど、やかん位の大きさと黄色い石だそう。

黒滝、向川寺の僧たちは、日頃聞かされている黒滝山の天狗の話信ずることができず、そんな話はいつも笑つて聞き流していた。

ある時、寺の扉がひどくこわれているので、造りかえた。ところが、嵐もないのに、造つたばかりの扉が翌朝にはひどくこわされていた。また、ある時は、張りかえたばかりの寺の障子が、風もないのに一夜のうちに破れていた。

それ以来、やはり天狗がいて、悪口を言われた天狗がやったしわざだと考え、恐れをなしたという。天狗が登り降りしたといわれる大杉には、天狗の爪跡がはつきりついていたといわれている。

○出典『大石田のどんとむがす』  
(大石田のどんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)



※この人数は外国人も含めたものです。

町の人口 令和2年5月1日現在	
世帯数	2,335人 (-9)
総人口	6,836人 (-34)
男	3,358人 (-9)
女	3,478人 (-25)
(4月中の異動)	
出生	1人
転入	12人
死亡	14人
転出	34人

#### 楽がき帳

二ニューズ玉手箱で掲載しましたギフチヨウ産卵数調査に同行させていただきました。今年、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため、最低限の人数での開催となりました。

調査の自身については、小雪や冬期間の気温が高かったことなど複数の理由から産卵時期が例年より2週間程度早く、産卵数は特にヒメギフチヨウが昨年より多い結果でした。そしてなんとこの日、運よくギフチヨウとヒメギフチヨウ両方の産卵の様子を撮影できました。食草となるウスバサイシンなどに止まり、真珠のような卵を産み付けていく様子は、何とも神秘的で貴重な経験になりました。  
(松)